

1学期終了！充実の夏休みを！！

保護者や地域の皆様方のご理解・ご協力で、大きな成果を収めることができました。心から感謝申し上げます

1学期終業式 校長先生の話

私は7月4日の全校朝会で「1学期の残り3週間、これだけはやり切って1学期を終えよう」という話をしました。まさに今日がその日にあたります。どうでしょう？ 『1つか2つ、ちょっと背伸びをすることができることをやり切って1学期を締めくくろう』ということでしたが、できたでしょうか？ ここで、聞きはしませんが、やり切ったという人は素晴らしい。その調子で夏休みを充実させてください。「出来なかった」とか、「そんなこと忘れていたよ」という人もいると思います。でも、過ぎた時間はもう取り戻せません。前に時間銀行の話をしました。1日は86,400秒。どう使うのか、それは、あなたの心がけ次第です。ぜひ自分事として考えて、夏休みに入ってほしいと思います。

さて、私が、紫波三中に来て約4か月が過ぎました。今、ここに立ち、改めて、とても幸せであることを実感しています。世の中に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻は長期化しており、多くの犠牲者が出ています。未だ収束の気配はありません。今年も異常気象により、線状降水帯の影響で被害が出たところがたくさんあります。第5類になったものの、コロナへの不安があります。マイナカードへの不信感も出てきています。福島原発処理水の問題もあります。このように、暗いニュースが多い中、紫波三中のみなさんは、総じて毎日元気に登校して来ます。「おはようございます」のあいさつが交わされ、授業が始まると、真剣なまなざしで考え、話し合い、発表し、ノートやタブレットにまとめています。一生懸命泳いだり、歌を歌ったり、時には、大きな笑い声が聞こえてきます。みんな笑顔で、楽しく勉強し、友と遊び、生徒会活動や部活動に生き生きと取り組んでいます。先生方もみんなの成長のため、一生懸命に、そして丁寧に準備をして、みんなと接しています。紫波三中のみなさんは、理想的な“中学校生活”を思う存分に送ることができています。私は、これは、当たり前ではなく、とても幸せなことだと思っています。みなさんはどう考えますか？

明日から夏休みです。ここでみなさんに一つお願いがあります。それは、「夏休み中、広島原爆の日、長崎原爆の日、敗戦の日があります。新聞でも、テレビでも、雑誌でも、本でも、ネットでも、何でもいい、少しの時間でもいいから、『戦争』についてじっくり考える時間をつくってください。78年前の日本を思い浮かべ、今の暮らしを考えてみてください」ということです。今後の日本をどうすべきか。そのためには、自分の国で起きたことを少しでも知ることが大事です。どうか、よろしく申し上げます。

では、やろうと決めたことをしっかりやり切って、満足できる夏休みを送ってください。27日間の夏休みが充実するか、しないかは、一人ひとりの心がけ次第です。交通事故や海・川・山の事故には充分気を付けて、健康管理に気を配り、8月22日、また「おはようございます！」と元気に登校してきてください。みんなに会えるのを楽しみにしています。



左は反省と決意を述べる1年生、2年生、3年生、生徒会執行部の代表者。皆しっかり話していました。右は話を聞く全校生徒の様子です。とても立派でよい締めくくりの式になりました。

【まず姿勢！！】

「ドラゴン桜公式副読本16歳の教科書」（講談社文庫 7人の特別講義プロジェクト&モーニング編集部・編著）において、“計算力の達人”である鍵本聡氏は、こう述べています。（以下抜粋）

数学が苦手な生徒は姿勢が悪い

これは意外な話かもしれないけど、数学が苦手な生徒って、姿勢が悪いんですよ。

体を傾けたり、のけぞったりして授業を聞いて、テストに臨んでいる。たとえば、難しい問題を前にしたとき、「わかんねえよ」って体を傾けたり、のけぞったりするんですね。こんな姿勢では、数学にとって大切な『集中力』が生まれません。だから、なおさらわからなくなってしまうんです。一方、できる生徒は、難しい問題が出てなかなかわからなくても、とりあえず前傾姿勢で机に向かっていてるんです。それで問題を鉛筆でなぞりながら何度も読んだり、問題文を自分で書き直してみたりとか、前向きな努力を続けている。そうしているうちに、ふと「なるほど！」というきっかけが見えるようになるんです。

そして、数学が苦手な生徒は、とにかく消しゴムを使う回数が多いですね。せっかくだけ書いたものを、平気で全部消してしまう。もしかすると、その中に答えやヒントがあるかもしれないのに、なぜか全部消してしまうんです。そんなの時間ももったいないし、消しゴムをゴシゴシやっていると、焦るだけなんです。消しゴムを使うのは必要最低限に抑えるようにしましょう。それから、「左手を使わない」という特徴もありますね。生徒たちを見ていると、左手をお尻や太ももの下に入れて問題を解いている生徒は、けっこう計算ミスが多い。このあたりはしっかりした統計やデータがあるわけじゃないけど、きっと両手を使うほうが脳が刺激されるんでしょうね。だから、初めて授業をする生徒たちでも、それぞれの姿勢を見れば「おまえ、計算ミスが多いやろ？」って、言い当てることができますよ。だから僕の塾では、まず姿勢なのです。姿勢を正しくすることから勉強は始まる。そして、実際それだけで成績が伸びていく。数学に関していえば、もう間違いなく伸びます。これは今すぐ誰にでもできる成績アップ術ですよ。足をくむのもダメ。基本原則は「体を左右対称にすること」です。みなさんもぜひ、明日から意識してみてください。（了）

いかがでしょうか。数学に限らず、姿勢については、今後も引き続き指導していきますが、夏休みに入ります。各ご家庭でも、お子さんの学習時の姿勢について、よくみていただき、あまりにひどい姿勢でいるときには、ひと声かけてあげるといいのではないのでしょうか。幼少期から小学校・中学校時代にかけて、ここをしっかりとっておくことが高校、その後の人生を充実させる、大事なポイントになっていくのではないかと考え、紹介しました。ぜひ、参考にしてください。